

45歳未満の人は他の年齢層に比べセンター入所を希望する割合が高い(36%)。反対に、65歳以上の路上生活者の利用経験者は5%に過ぎず、44%はセンターそのものの存在を知らない。一方で、この年齢層では、たとえセンターの存在を知っていても入所を希望しない人が多く、入所希望者はわずか18%である(問26、問26_4)。

Q26 自立支援センターがありますが、この施設の内容を知っていますか。

年齢階級	n	%	知っており、利用したことがある		知っているが、利用したことはない		知らない		欠損	計	
45歳未満	167	8.6	32	19%	88	53%	47	28%	0	0%	167
45歳～54歳	438	22.5	43	10%	259	59%	132	30%	4	1%	438
55歳～64歳	939	48.3	83	9%	555	59%	289	31%	12	1%	939
65歳以上	402	20.7	22	5%	202	50%	175	44%	3	1%	402
欠損	9		1	11%	5	56%	1	11%	2	22%	9
			181	9%	1109	57%	644	33%	21	1%	1955

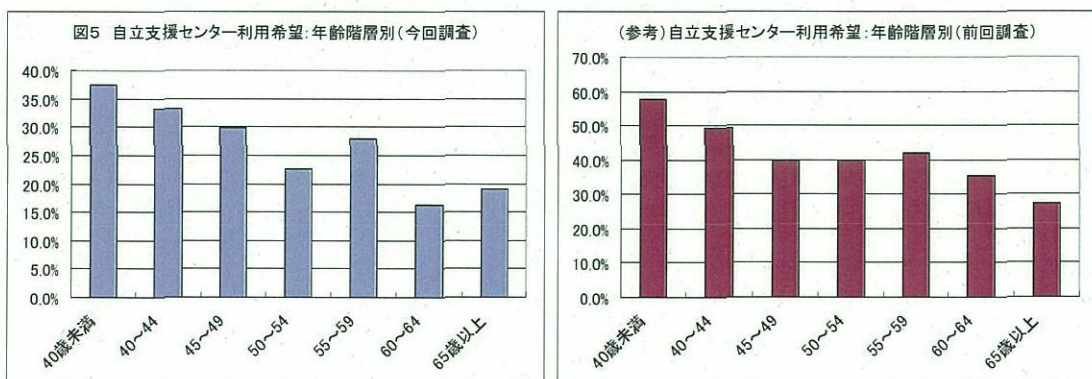
χ^2 乗= 46.01 <.0001

Q26_4 問26で「知っているが、利用したことがない」と答えた方について、今後自立支援センターを利用したいと思いませんか。

年齢階級	n	%	思わない		思う		欠損値	計	
45歳未満	88	8.6	56	64%	32	36%	0	0%	88
45歳～54歳	259	22.5	194	75%	63	24%	2	1%	259
55歳～64歳	555	48.3	422	76%	128	23%	5	1%	555
65歳以上	202	20.7	163	81%	37	18%	2	0%	202
欠損	5		5	100%	0	0%	0	0%	5
	1109		840	76%	260	23%	9	1%	1109

χ^2 乗= 10.93 0.0121

自立支援センターの利用および利用希望が高齢層に比べ中年層に偏っていることは、前回調査でも認められる現象であり、この傾向は変わっていない。(図5)(自立支援センターの利用希望については、今回調査と前回調査とでは聞き取り対象者が異なっているので、数値を比較することはできない。)



また、路上生活期間別にみると、今回の路上生活期間が短い者のほうが、利用希望が多い